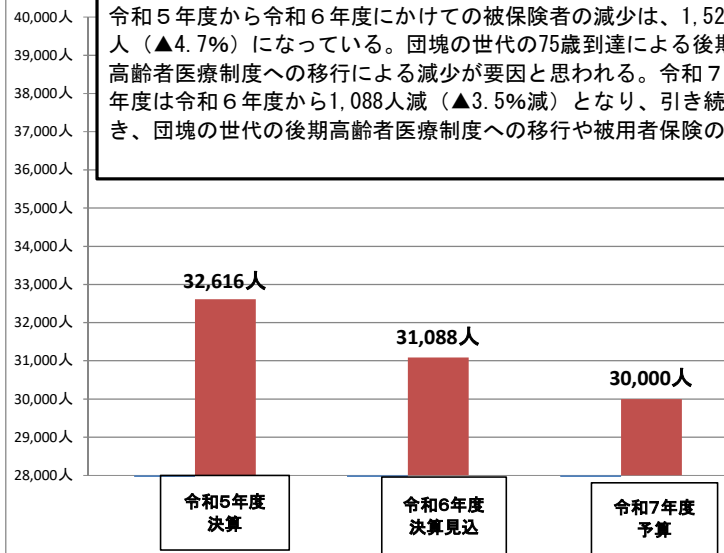


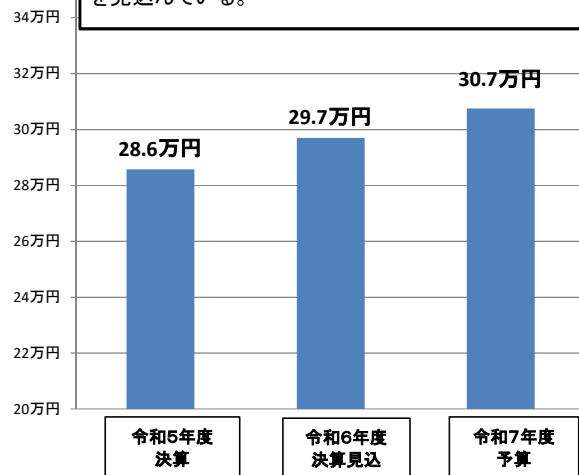
○ 被保険者数

令和5年度から令和6年度にかけての被保険者の減少は、1,528人（▲4.7%）になっている。団塊の世代の75歳到達による後期高齢者医療制度への移行による減少が要因と思われる。令和7年度は令和6年度から1,088人減（▲3.5%減）となり、引き続き、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の



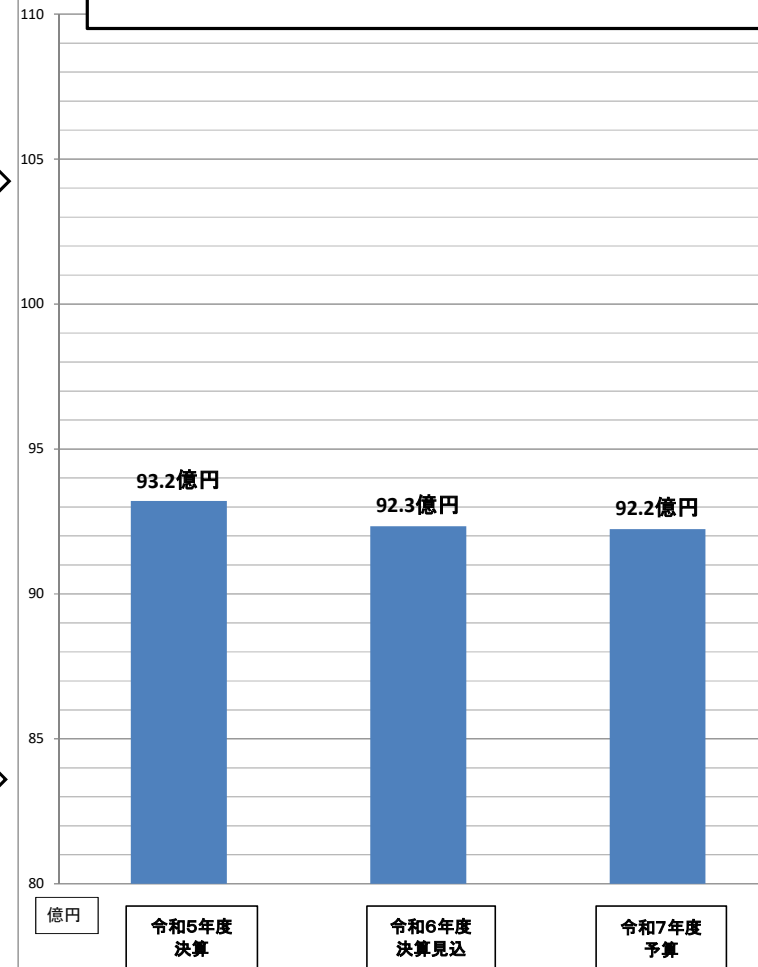
○ 一人当たりの保険給付費

医療の高度化と被保険者の高齢化などにより年々増加することを見込んでいる。



○ 療養給付費

一人当たりの保険給付費は増加傾向にあるものの、被保険者数の減



○歳出のポイント

■納付金・・・約51.5億円

被保険者数の減少等により、対前年度約2.47億円減額となった。

■保険給付費・・・・・・約107.1億円

被保険者数の減少により、対前年度約0.71億円減額と想定した。

○当初予算総額

・当初予算総額 163億円

(令和6年度当初予算比▲2.83%)

国保事業費の推移

